

株式会社 明悠鳶

〒252-0242

神奈川県相模原市中央区横山 6-4-1
アスリートタウン KOIZUMI 505

URL <https://www.meiyutobi.co.jp/>

Company data

代表取締役

瀬崎 明生

学業修了後、15歳から建築業界へ。足場職一筋で経験を積む。周囲の人からの支持を得たことで独立を決意。2018年に、仮設足場事業を立ち上げた。2019年に福利厚生を充実させることを目的に、法人化を果たし、(株)明悠鳶を設立。

Personal data



当たり前のマナーとルールを徹底 現場に活気がある仮設足場事業

西岡 仮設足場事業を手掛ける(株)明悠鳶さん。瀬崎社長は足場職人として長く経験を積まれていると伺いました。

瀬崎 ええ。15歳のときから足場職一筋で歩んできました。ただ、私自身職人でありながらも、職人独特の雰囲気や、仕事のやり方に疑問を感じる事が多くて…。そんなときに後輩に「独立するなら付いていきます」と言ってもらったんですよ。

西岡 後輩から独立の後押しをされたことがきっかけだったんですね。

瀬崎 はい。それで2018年に個人事業主として開業しました。法人化を考え始めたのは、社会活動に積極的に取り組んでいる地域ボランティア団体に入ったときです。活動を通して、会社経営を5年、10年先までしっかりと考えたほうがい

いと学びました。今後を考えたとき、従業員のために福利厚生を充実させたいと思ったので、2019年に法人化しました。

西岡 では、お仕事のとときに心掛けていることは何かありますか？

瀬崎 ルールとマナーを守ることの徹底ですね。足場の設営は、必ず音が出ます。だから現場に入る際、向かいのお宅はもちろん、裏のお宅にまで伺ってあいさつするようにしているんです。従業員もその点を理解ではなく、“共感”して行動しているので、どこの現場に行っても褒められますね。

西岡 お客様だけでなく、周囲の方にも配慮が行き届いているのはすごいです。

瀬崎 ありがとうございます。仕事でも当社の従業員はハキハキ声を出し合っています。その様子を見ていた方から、「自

分の家の塗り替えをするときは、ぜひお願いしたい」と言ってもらったこともありますよ。

西岡 それはすごい！会社の今後については、どのようなビジョンをお持ちでしょうか？

瀬崎 ワークライフバランスを重視した会社でありたいと考えています。家庭があってこそ仕事だと思うので、家庭も大事にできる、働きやすい環境を整えていきたいですね。

西岡 お話を伺っていると、社長は経営者としてもしっかりと芯を持っていらっしゃいますよね。

瀬崎 そう言って頂けるとうれしいです。お客様に満足して頂ける仕事を提供するためにも、従業員を一番大事にしているんですよ。ただ、足場を組む仕事だけでは、年齢的な限界がありますから、今後は他の事業の展開も考えています。

西岡 確かに体力がないと、なかなか難しいお仕事ですよね。

瀬崎 そうなんです。私は、もし従業員が足場の仕事をするのが難しくなっても、その人ができることを探し、会社としてさまざまな道を用意できればと考えています。明るい未来にするため、今後も、人とのつながりを大切に、自分自身の成長とともに歩んでいきたいですね。

Guest Comment

西岡 利晃 (元ボクシング世界王者)

ボランティアにも関心が高く、お忙しい合間にも地域ボランティア団体の活動や、動物の保護活動をされている瀬崎社長。お仕事だけにとどまらず、多くの活動に挑戦される、そのバイタリティが素晴らしいなと思いました。今後もぜひつながりを大切に、誠実なお仕事を続けていってくださいね。

